

# 熱川温泉病院

石川 桂子(看護部長)

功 績	缶バッジを製作・配布することで健育会の目標『愛情を持って、親身な対応』を職員へ浸透させることに貢献している功績
推 薦 者	佐野 良一(マネージングディレクター)
推 薦 理 由	企業理念やその実現のための目標を浸透・共有させることで、全職員の価値観は統一され、仕事に取り組む際のモチベーションがアップします。またその影響で企業業績が向上し、社会的評価に繋がります。被推薦者は自らデザインした『親身な対応』缶バッジを製作し、全職員へ配布しており、理事長が仰る『愛情を持って、親身な対応』の職員間での共有と実践に一役買っております。健育会の理念・目標を職員へ浸透させるために、自ら考え行動している石川看護部長を理事長賞へご推薦申し上げます。

## 内 容

『愛情を持って、親身な対応』は健育会グループ全職員の目標で、今年の年頭所感で理事長より発信された『私たちはOur Team の一人として戦略的経営に参加し、患者さんには愛情を持って親身な対応を心掛けます』の中にも入っている大切なフレーズです。

看護部長の石川は、一昨年からオリジナル『親身な対応』缶バッジ200個を空き時間を使って手作りし、全職員へ配布しております。今年配布したバッジは3代目で、その表面には「みんなで働きやすい職場にしよう!」「親身な対応☑」「Our Team!」といった言葉が可愛いデザインと共に添えられ、各職員はユニフォームの名札と一緒に付けております。

製作のきっかけは、職員一人ひとりが健育会の目標を自覚するにはどうしたら良いか考えた際に、社章バッジを製作し、職員の一体感や理念浸透に役立っている企業に関する記事を読んだことだったそうです。そして狙い通り、ユニフォームに付ければ自分のバッジも同僚のバッジも目に入り、また患者さんやご家族から「可愛いもの付けてるね!」「これはどういう意味なの?」とお声がけ頂いており、各職員は今年の目標『愛情を持って、親身な対応』を常に意識し、お互い気を付けながら実践し、同時に患者さんやご家族へ健育会の取り組みをアピールすることに繋がっております。